

📱 人間健康学部 ホームページ

人間健康学部のさらに詳しい情報、最新のトピックスを知るには「人間健康学部ホームページ」をご確認ください。学部の特色や卒業生の声、「学生的一天」などのキャンパスライフ情報など、人間健康学部に触れるここだけの情報が充実しています。



📱 関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web 2023年4月リニューアル

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載！社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。



関大 入試 検索 /クリック！\



LINE 関西大学 入試センター × LINE公式アカウント



Instagram 関西大学 入試センター 公式Instagram



Twitter 関西大学 入試広報 公式Twitter



YouTube 関西大学 入試センター 公式YouTube



南海電鉄でのアクセス

南海高野線「浅香山」駅（なんば駅から約20分）下車、すぐ。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず（方面）」行で、「なんば」駅下車、南海高野線に乗り換え「浅香山」駅下車、すぐ。

大阪国際（伊丹）空港からのアクセス

大阪国際空港から空港リムジンバスでなんば駅前下車、南海高野線に乗り換え、「浅香山」駅下車、すぐ。

人間健康学部

Faculty of Health and Well-being

人間健康学科

スポーツと健康コース

福祉と健康コース

人間健康学部には、 「こころ、からだ、暮らし」を 「健幸」にする学びがある。

仲間や地域と関わりながら、あなたらしく学びませんか？

人間健康学部での学び



スポーツがもつ魅力と可能性を
広い視点から研究したい！

▶ P.03へ

スポーツと健康コース



福祉の観点から、地域の人々が
共に支え合う暮らしを実現したい！

▶ P.05へ

福祉と健康コース



留学や資格取得などを通して視野を
広げたい！

▶ P.07へ

カリキュラム紹介



人間健康学部で過ごす4年間で
どのように成長できるか知りたい！

▶ P.09へ

将来を見据えた成長

「スポーツ」や「福祉」の枠組みを超えた幅広い知識と実践的スキルの修得をめざす。

人間健康学プログラム群

「こころ」「からだ」「暮らし」の
“健幸”を実現するために、「ス
ポーツ」や「福祉」の枠組みを
超えた幅広い知識や視野、柔
軟な思考力を養います。これ
らのプログラムの学びを通じ
て、他者を尊重し、互いに支え
合う暮らしを身につけます。

スポーツと
健康コース

人間健康学
プログラム群

人間関係学プログラム

ユーモア学プログラム

地域デザイン学プログラム

福祉と
健康コース

データでみる人間健康学部

人間健康学部生 男 754人 女 643人 合計 1,397人 ※2022年5月現在	留学生 1人 (認定留学1人) ※2022年度実績	課外活動団体に 所属する学生 2022年度入学生 263人 ／344人 ※2022年5月現在	教員免許取得者数 中学校教諭 一種免許状 57人 高等学校教諭 一種免許状 66人 両免許(中・高)取得者は58人 ※2023年3月卒業生実績	社会福祉士 国家試験合格者 24人 合格率 72.7% (全国平均44.2%) ※2023年3月卒業生実績	堺キャンパス 蔵書数 53,278冊 ※2022年3月現在
---	---	---	--	--	--

人間健康学部 Q&A

みなさんからのよくあるご質問にお答えします。
右記の二次元コードからアクセス！



関西大学人間健康学部をめざす皆さんへ

よりよく生きる・生きられる社会づくりを「健幸」からアプローチする

人間健康学部の学びのメインテーマは「健康 (health)」と「健幸 (well-being)」です。「こころ」「からだ」「暮らし」を総合的にとらえ、自らが健康で幸せでいられることはもちろん、誰もが健やかで幸せにくらせる社会を実現することを追究しています。そのために幅広い専門科目を学び、学際的かつ実践的アプローチによって、「生き方」としての「健幸」を総合的に探求します。

「生き方」、つまり「どう生きるか」を探求する上で、人間健康学部では「何を学ぶか」とともに、「どう学ぶか」ということを大切にしています。

一人ひとりが「健幸」にくらせる社会は、身近な地域社会から地球全体のレベルに至るまで、人と人、人と環境とのつながりを抜きに考えることはできません。

あなたも人間健康学部で、他者を尊重し互いに支え合う体験学習や、地域との実践的な関わり体験を積みながら、「健幸」の実現に取り組んでみませんか。



人間健康学部長
所 めぐみ 教授

Contents

学部長メッセージ	01	人間健康学部の活動	11
人間健康学プログラム群紹介	02	国際的な学び	11
データでみる人間健康学部	02	卒業生インタビュー	11
スポーツと健康コース	03	就職実績	12
福祉と健康コース	05	教員紹介	13
カリキュラム紹介	07	堺キャンパス紹介	14
将来を見据えた成長	09		

スポーツが築く幸福な暮らしを探究する スポーツと健康コース

こんなあなたを待っています

- ▶ 「スポーツ」が人を豊かにできることを子どもたちに伝えられる教員になりたい
- ▶ 「みる」「ささえる」といったいろんな視点から、「スポーツ」のもつ魅力を研究したい



PICK UP 講義

スポーツ感性学

志岐 幸子教授

スポーツにおいて最高の能力を発揮する「ゾーン」でトップアスリートや指導者が働かせている感性の事例を取り上げながら、感性の仕組みや働きを理論的に解説します。また心理学や東洋思想、脳科学などの知見も紹介し、ゾーンの意義についての理解を深めます。



PICK UP 講義

救急安全法

灘 英世教授

とっさのときやスポーツ活動中のけが、病気に對する正しい手当の知識と技術を身につけ、日常生活の中で実践することで、自分自身の身を守るだけでなく急病人やけが人を正しく救助することができます。より積極的に健康な生活を築いていけるよう、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の正しい使用方法、傷や骨折の手当、包帯法などの知識と技術を習得し、救急安全の具体的な方法を学びます。



PICK UP 講義

レクリエーション支援論

涌井 忠昭教授

わが国におけるレクリエーション活動は、人間にとっての「楽しみ」を創り出す領域として発展してきました。近年はその対象が拡張され、「人間交流」の場づくりや、高齢者や障がい者の「楽しみ」や「生きがい」づくりなどを支援するためのプログラムが開発されています。本講義では、こうしたレクリエーション支援の基礎的な理論と実際について、学習します。



教職相談室

保健体育科教員をめざす学生にとっての活動拠点

教員を志望する学生のみならずを支援するために、さまざまな教職に関する情報提供のみならず、学校現場の現状や課題を熟知し、実務経験豊富な担当教員が、教員採用試験に向けてのアドバイスや教員採用試験模擬面接などを日々行っています。



TOPICS

教員採用試験に 11名※が合格 (2022年度実績) ※既卒合格者含む

スポーツの技術指導だけでなく、子どもたちが生涯にわたってスポーツに関わるような資質を育てる授業を企画できる教員を育成しています。また学校内だけでなく地域との連携をコーディネートしたり、スポーツを行う上での子どもたちの悩みにも相談に乗ることができるカウンセラーとしての役割も担える教員養成をめざしており、教員採用試験では高い合格実績を残しています。

学生インタビュー

スポーツをさまざまな視点や
立場から思う存分学べる環境です



粕瀨さんの時間割を
Webでも紹介しています。



スポーツと健康コース 4年次生
粕瀨 正真さん 滋賀/県立伊吹高校出身

ゼミの仲間と身体表現を創り上げた。

身体表現ゼミでの活動に打ち込みました。先生の力を借りつつ、ゼミの仲間と共に1つの作品を創り上げ、無事に地域のホールで公演を行うことができました。今までダンスなどを経験したことがなかったのですが、大きな舞台でお客さんを前にして、身体表現をしたことは大学生活の中でも大きな思い出となりました。



スポーツをあらゆる角度から学べる。

スポーツのパフォーマンスに影響すること、怪我のリスクや応急処置、メンタル面に関すること、スポーツの歴史などスポーツをさまざまな角度から学べるので、部活動や体を動かすことが好きな人は本当に楽しく学べるコースだと思います。

コース紹介

超高齢社会に求められる幸福を探究する

福祉と健康コース

こんなあなたを待っています

- ▶ 多様なくらしの「ニーズ」にあわせた「福祉サービス」の提案ができるソーシャルワーカーになりたい
- ▶ 「福祉」の観点から、共に支え合う「くらし」を築きたい



PICK UP 演習

ソーシャルワーク演習 II

西川 知亨教授

この講義では、社会福祉専門職に求められる相談援助に必要な知識と技術を学びます。児童虐待や高齢者の在宅介護など、相談援助における課題別のケース検討を通して、基本的視点やアプローチを学ぶとともに、少人数でのワークを通じて、援助過程の理解を深めます。最終的には総合的かつ包括的な実践活動に必要な知識の修得をめざします。



PICK UP 講義

地域福祉論 I・II

所 めぐみ教授

地域福祉とは何か、なぜ地域福祉なのか。また、誰が、どのような人々や団体・機関と、どのようなしくみの中で、どのような方法ですすめている(すすめている)のか。「地域福祉」の理念・概念を、国内外の実践とその歩みに学び、地域福祉実践の主体形成や地域の福祉力の醸成と向上について、その課題を検討します。



PICK UP 講義

子ども家庭福祉論

山縣 文治教授

子どもが生まれながらに備えている「生きる力」を伸ばす支援をするために、今の親子が置かれている虐待や貧困、障がい、待機児童といった社会状況について学んでいきます。また「子ども家庭福祉」という概念が出てきた背景や内容、政策動向などについて理解を深めます。



福祉実習担当室

社会福祉士をめざす学生にとっての活動拠点

社会福祉士国家試験の受験に必要な実習に関する手続きや各種情報提供を行っています。社会福祉士をめざす学生のみなさんがスムーズに安心して実習が行えるよう専門スタッフが全面的にサポートしています。



TOPICS

社会福祉士国家試験合格率 72.7% 24名が合格

(2023年3月卒業生実績)

「福祉と健康コース」では、一定の要件を満たせば社会福祉士国家試験の受験資格を取得することができます。本学部では社会福祉士の国家試験対策のための講座を開設しており、「自主勉強会」も定期的に開催しています。また、福祉実習担当室のサポートも充実しており、社会福祉士国家試験では、全国平均の約30%を上回る高い合格率を誇っています。

学生インタビュー

福祉の基礎知識から実践までを学び
人生への気づきを得ることができます



村上さんの時間割を
Webでも紹介しています。



福祉と健康コース 4年次生
村上 佳香さん

京都府立山城高校出身

望ましい社会のあり方を現場で考えた。

3年次の夏、障がい児者の地域生活支援を行うNPO法人で、約1カ月半の相談援助実習を経験しました。利用者の方々と共に過ごしたことで、障がいのある人もない人もお互いを認識し、各々のペースで過ごせる社会をめざせたらと考えるようになりました。

利用者を主体とした支援が重要。

放課後等デイサービスでの相談援助実習を経験して、支援とは利用者が主体となっていることが大切であると実感しました。支援者の想いが先行していないか、常に意識する必要があります。その子自身の生活や特性を知り将来を見据えた上で、今必要な支援を考え、そのための具体的な関わり方を学びました。



カリキュラム紹介

授業科目での知識の習得を土台に、実践的なフィールドワークを

通じて人間の幸福を学びます

基礎科目 応用科目 演習科目 選択科目

※このカリキュラムは2022年度のものです。

		1 年次		2 年次						3 年次			4 年次								
専門教育科目	基礎科目	各コース共通	人間健康論 スポーツ生理学① スポーツと健康		社会福祉概論 健康支援の社会システム 身体文化と健康		身体表現と健康 健康の文化史 体育史		こころと健康 衛生学及び公衆衛生学 医学一般		社会調査法 当事者福祉論 精神保健福祉論		臨床心理学 救急安全法② 社会福祉政策Ⅰ・Ⅱ		ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ 介護概論 ユーモア学入門		笑い与健康 人間関係学入門 地域デザイン学入門				
	応用科目	各コース共通			からだと健康を考える スポーツ原理 スポーツ教育学 スポーツ社会学		スポーツ心理学 スポーツ栄養学 運動処方論		グループダイナミクス演習 体力科学 臨床バイオフィードバック				こころと健康を考える 身体文化論 ユーモアコミュニケーション演習 心理学演習								
		スポーツと健康コース			こころと健康を考える 身体教育学③ 身体表現論 武道論		身体の文化人類学 学びの身体技法 人間行動論		笑いの文学 笑いの民俗学 笑いの行動学				くらしと健康を考える 福祉レクリエーション論 老人・障害者の理解 社会福祉調査法								
					くらしと健康を考える リハビリテーション論 フィールド調査法 家族福祉論		臨床死生学 コミュニケーション演習														
		福祉と健康コース				スポーツ運動学 スポーツ経営学 スポーツ医学 学校保健		スポーツ感性学 コーチング論 地域スポーツデザイン論 スポーツ文化論 スポーツ動作の仕組みと制御						スポーツ方法学 生涯スポーツ論 障害者スポーツ論 スポーツ統計学							
	連携科目				ソーシャルワーク論Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ 高齢者福祉論 子ども家庭福祉論 障害者福祉論 公的扶助論④		地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 医療福祉論						社会福祉経営論 司法福祉 社会保険論Ⅰ・Ⅱ 権利擁護と成年後見制度		社会企業論						
	演習科目		導入演習		基礎演習								専門演習Ⅰ・Ⅱ				卒業演習Ⅰ・Ⅱ 卒業論文 卒業研究				
選択科目		スポーツ方法実習Ⅸ(球技2) 国際健康福祉実習(各テーマ) 国際健康福祉論 人間健康学海外研修(各テーマ) 寄附講座(各テーマ)		スポーツ方法実習Ⅰ(陸上競技) スポーツ方法実習Ⅲ(器械運動) スポーツ方法実習Ⅶ(ダンス)⑤ スポーツ方法実習Ⅷ(球技1) 野外教育実習(野外活動) トレーニング実習Ⅰ・Ⅱ		健康運動実習Ⅰ・Ⅱ レクリエーション実技Ⅰ・Ⅱ 身体表現Ⅰ・Ⅱ 運動処方実習 予防医学 ソーシャルワーク演習Ⅰa・Ⅰb		ソーシャルワーク実習指導Ⅰa・Ⅰb ソーシャルワーク実習Ⅰ				スポーツ方法実習Ⅱ(水泳) スポーツ方法実習Ⅳ(武道2) スポーツ方法実習Ⅴ(武道2) スポーツ方法実習Ⅹ(球技3) スポーツ方法実習Ⅺ(球技4) 地域スポーツ演習		実技研究 健康運動指導演習 野外活動特別演習 増健科学演習 ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		ソーシャルワーク実習Ⅱ 社会福祉制度研究Ⅰ・Ⅱ(各テーマ)		ソーシャルワーク演習Ⅲ 社会福祉制度研究Ⅲ・Ⅳ(各テーマ)			
自由科目		教職概説 教育原理		教育制度論 人権教育論 教育心理学 特別活動論 道徳教育の理論と方法 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む)		教育相談論 保健体育科教育法(一)・(二) 学校経営と学校図書館 情報資源組織論 図書館情報資源概論		学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用				特別支援教育論 カリキュラム開発論 総合的な学習の時間の指導法 生徒・進路指導論 教育実習事前指導 保健体育科教育法(三)・(四)				教育実習(一)・(二) 教職実践演習(中等)					

人間健康学プログラム群



人間関係学プログラム
レクリエーションやアドベンチャープログラムなどの体験学習法と、ソーシャルワークなどの社会福祉学に関する科目を合わせて学びます。多様な人々が互いを尊重し、誰もが健康に居心地の良さを感じられるような、良好な関係の集合体としての「場づくり」の経験を積んでいきます。



ユーモア学プログラム
健やかで幸せなくらしを構成するユーモアと笑いについて、その特徴と機能を専門的に学びます。多様な領域を接合する科目群を用意して、人々の健康と幸福のさまざまな側面について話し合う能力を養い、知識と共感に支えられた人間理解の態度を育成します。



地域デザイン学プログラム
グローバル化する世界の動向を踏まえて、地域社会に根差してローカルに活躍できる人材を育成します。地域連携、地域活性化などをキーワードとして、地域が抱える課題や可能性を発見し、全ての人々が健康でくらするように、これからの社会に適した地域デザインのあり方を考えていきます。

人間健康学プログラム群対象科目

プログラム名	人間関係学プログラム		ユーモア学プログラム		地域デザイン学プログラム	
	配当年次	授業科目	配当年次	授業科目	配当年次	授業科目
基礎科目	1 年次 1 年次	人間関係学入門 ソーシャルワーク論Ⅰ	1 年次 1 年次	ユーモア学入門 笑い与健康	1 年次 1 年次	地域デザイン学入門 健康支援の社会システム
応用科目	2 年次 2 年次 2 年次 2 年次 2 年次 2 年次 3 年次 3 年次	コーチング論 レクリエーション支援論 家族福祉論 コミュニケーション演習 グルーブダイナミクス演習 福祉レクリエーション論 障害者スポーツ論	2 年次 2 年次 2 年次 2 年次 2 年次 2 年次 3 年次 3 年次	笑いの文学 笑いの民俗学 笑いの行動学 レクリエーション支援論 ユーモアコミュニケーション演習 心理学演習 福祉レクリエーション論	2 年次 2 年次 2 年次 2 年次 2 年次 2 年次 3 年次 3 年次	地域スポーツデザイン演習 レクリエーション支援論 スポーツ文化論 地域福祉論Ⅰ スポーツ経営学 地域スポーツデザイン論 社会起業論 生涯スポーツ論
演習・実習科目	2 年次 2 年次 2 年次 2 年次	野外活動特別演習 レクリエーション実技Ⅰ・Ⅱ 野外教育実習(野外活動) 身体表現Ⅰ・Ⅱ	2 年次	レクリエーション実技Ⅰ・Ⅱ	1 年次 2 年次 3 年次	国際健康福祉実習(各テーマ) レクリエーション実技Ⅰ・Ⅱ 地域スポーツ演習

取得できる資格

- 社会福祉士国家試験 受験資格※1 ■ 中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 司書教諭※2
■ 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者※3 ■ 健康運動指導士 受験資格 ■ 健康運動実践指導者 受験資格
■ レクリエーション・インストラクター ■ 初級パラスポーツ指導員

※1 福祉と健康コースの定員は100名です。 ※2 司書教諭の資格取得に関する科目を履修する場合は、千里山キャンパスでの受講が必要です。

※3 資格取得に必要な基礎的な科目の修得が可能です。

任用資格(公務員として採用され、特定の職業ないし職位に任用されるための資格) ■ 社会福祉主事 ■ 児童福祉司 ■ 身体障害者福祉司
■ 知的障害者福祉司

取得できる資格の一例

健康運動指導士・健康運動実践指導者

認定団体:公益財団法人 健康・体力づくり事業財団

保健医療関係者と連携し、個々人に対応した運動プログラムを作成する(健康運動指導士)、医学的基礎知識に基づき健康づくりのための運動プログラム実践指導を行う(健康運動実践指導者)といった活動を通じ、その知識・技能を生かして人のサポートをする資格です。

活躍できる職種

フィットネスクラブ、病院、介護老人保健・福祉施設など

公認スポーツ指導者

認定団体:公益財団法人 日本スポーツ協会

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタードの考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献する資格です。

活躍できる職種

総合型地域スポーツクラブ、学校など

レクリエーション・インストラクター

認定団体:公益財団法人 日本レクリエーション協会

子どもから高齢者まで幅広い対象に向けて、スポーツや集団遊び、野外活動といったレクリエーション活動を効果的に活用し、「集団をリードする」「コミュニケーションを促進する」「楽しい空間をつくる」といった「こころの元気づくり」を行う資格です。

活躍できる職種

幼児保育・学校、高齢者福祉施設など

初級パラスポーツ指導員

認定団体:公益財団法人 日本パラスポーツ協会

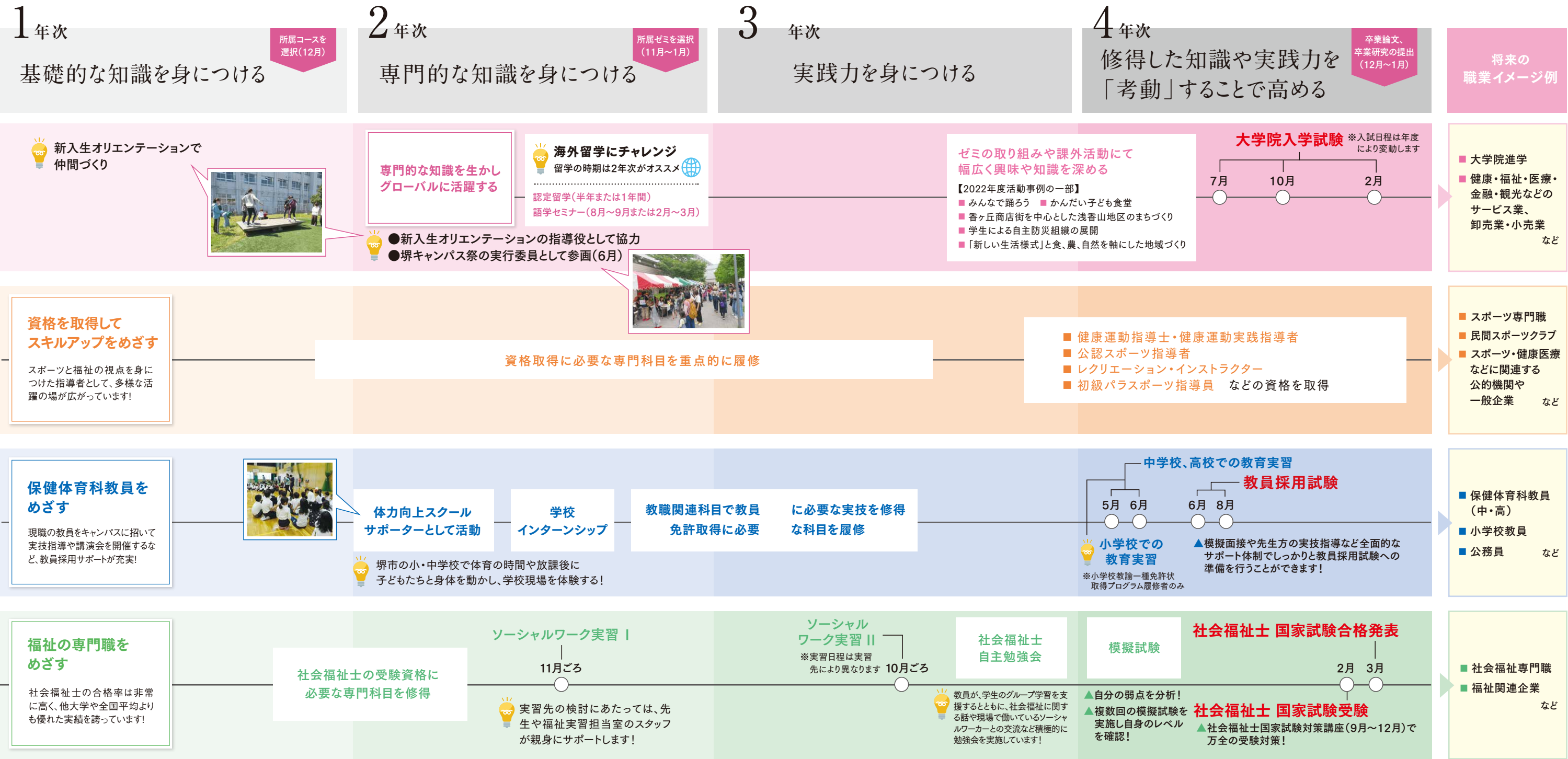
障がい者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援したり、健康や安全管理に配慮した指導を行い、スポーツの喜びや楽しさを伝える資格です。

活躍できる職種

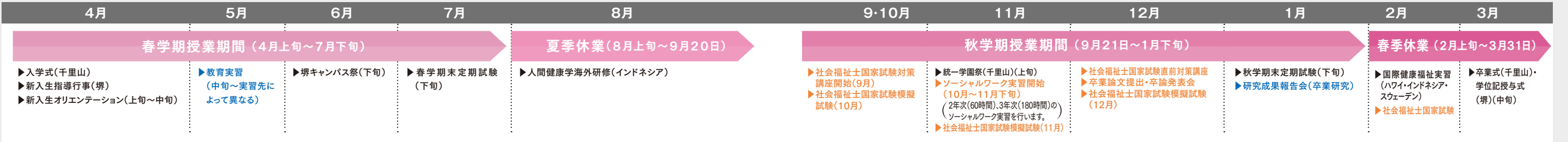
地域スポーツクラブ、学校など

将来を見据えた成長

人間健康学部で過ごす4年間は、自分の目標に向かってチャレンジし、地域や世界と関わる機会に満ちています。
さまざまな学びと体験を通して、自分らしい進路を切り拓いてください！



▶人間健康学部の1年(2024年度予定) 行事日程等は年度により変動します ▶両コース ▶スポーツと健康コース ▶福祉と健康コース



人間健康学部の活動

『つながる』『ささえる』『はぐくむ』力を養う、人間健康学部の活動

人間健康学部の学びはキャンパスの中にとどまりません。
キャンパス内外でのさまざまな活動を通じた「気づき」が人間力を高める。
これが人間健康学部の学びです。

新入生の仲間づくりの場

「新入生オリエンテーション」(新入生研修会)

新入生のみなさんがスムーズに大学生活を始められるように、新入生オリエンテーション(新入生研修会)を実施しています。人間健康学部の特色である体験学習法(アドベンチャープログラム)を通して、指導役の上位年次生や教員と意見交換をしながら交流を深めていきます。充実した学生生活のために互いに支え合い、影響し合う「学びの場」を自分たちで創り出すための基盤づくりを行っています。



JA直売所のとれたて農産物を 大学生が南海電車で載せ・運び・売る!

JA直売所(河内長野市や橋本市)の農産物を南海電鉄が買い取り、人間健康学部の学生が南海電鉄の営業列車で難波駅まで輸送し販売する実証実験(NANKAI FARMERS' MARKET)を実施しました。地域社会との関わりを学ぶ本学学生と南海沿線の地産地消と生産者の課題解決をめざす南海電鉄との協働により農産物の販路拡充と南大阪・和歌山の新鮮な農産物の新たな販売経路を提供しました。農産物の販売やマーケティング等より実践に即した学びが学生の主体性を育むことにつながっています。



国際的な学び

▶国際健康福祉実習

インドネシア

現地の学生と協働して児童養護施設の施設改善プロジェクトへの貢献や、現地の高校において日本語や日本文化の紹介を行うことで、グローバル人材の養成をめざします。また、ホームステイをしながら文化や宗教、生活様式を経験し、国際人としての基礎力の涵養をめざしています。



ハワイ

屋外および屋内におけるレクリエーション・プログラムの受講、福祉施設の見学をとおして、地域社会における農園を活用した福祉の実際や、ハワイにおける多文化社会の構造、現地の福祉制度の実情を体験的に学びます。



スウェーデン

福祉先進国・スウェーデンの福祉関連施設見学、政策についての講座や国際障がい者武道協会の障がい者武道プログラムを通じて、スポーツや武道などの身体文化領域と社会福祉領域の融合する実例を体験することで、人間健康学部の理念・目的である人々の「健康(well-being)」促進についての理解を深めます。



交換派遣留学

- 期間:1~2学期間
- 行き先:下記の協定校
- 単位認定:有

関西大学と学生交換協定を結んでいる外国の大学に留学し、専門分野を学ぶ制度です。「外国語」で学ぶ力を養い、専門分野に関する見識を広げることができま。関西大学の学費を納入することで、協定大学での授業料は免除されます。

認定留学

- 期間:1~2学期間
- 行き先:正規大学付属の語学学校
- 単位認定:有

所属学部において、留学によって学習の充実が期待できると判断された場合に「認定留学制度」が活用できます。基礎から外国語能力を身につけたい人や就職活動に生かすために語学力に磨きをかけたい人が多く利用しています。

語学セミナー

- 期間:約3~4週間(夏季、春季休業中)
- 行き先:北米、ヨーロッパ、オセアニア、アジア など
- 単位認定:有

語学研修に異文化体験をプラスした短期留学プログラムです。海外の大学附属の語学学校に通いながら、異国の文化や歴史、価値観を学ぶことが可能です。セミナー参加をきっかけとして長期留学を志す学生も多く、留学へのファーストステップとなっています。

卒業生インタビュー



2021年3月
スポーツと健康コース 卒業
伊地知 京汰さん
(静岡/県立沼津城北高校出身)

堺市社会福祉協議会 勤務

在学中に地域活動のすばらしさを知り、多様性社会の実現に貢献する仕事を選びました。

堺市内のボランティア団体の活動支援と、施設やイベント企画者とのマッチングを図るボランティアコーディネーションなどを担当しています。また、堺市で災害が発生した際にボランティアセンターを立ち上げるための準備や、関係機関との連携も行っています。在学中はスポーツと健康コースに所属し、ゼミ活動の一環として「かんだい子ども食堂」に参加しました。この活動を通じて性別や年齢、障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめる地域活動のすばらしさに引き込まれ、現在の仕事に進みました。

現在に生きている
在学中の経験は?

ゼミ活動以外にもアドベンチャープログラム、スタディスキルゼミのラーニングアシスタント業務などを通じて、多様な人と関わる機会を数多く経験できました。現在、地域の方々と目線合わせ、ニーズを聴きとるということに大いに生きていると思います。



2017年3月
福祉と健康コース 卒業
大谷 琴美さん
(大阪/府立箕面高校出身)

大阪市社会福祉協議会 勤務

地域の人々の力を引き出し、一緒に汗をかきながら幸せを創る仕事です。

社会福祉協議会の仕事は、地域で暮らす高齢の方、障がいのある方、子育て中の方や子どもたちが生きがいや役割をもって暮らせるように、地域の人々や団体の力を引き出して一緒に汗をかきながら日常生活の幸せを創っていくことです。私は活動をまとめた情報誌の発行や、市内の社会福祉施設とのネットワークづくり、学生向けに福祉の魅力を発信する取組みなどを担当しています。在学中に数多くの活動に参加した経験から、さまざまな人と協働しながら一つの目標に向かう仕事に魅力を感じ、現在の仕事を選びました。

現在に生きている
在学中の経験は?

多くの授業で行ったグループワークの経験は、住民や団体、専門職などさまざまな立場の人と意見を出しあい、合意形成していく際のファシリテーション力に直結していると感じています。また大学で学んだ相談援助技法は、考える際の軸になっていると感じます。

就職実績

社会のあらゆる面に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス。

就職戦線も例外ではありませんでしたが、人間健康学部の2022年度就職率は、99.4%(男子98.8%、女子100%)と、高い実績を上げることが出来ました。

就職率
99.4% 男子学生 98.8% 女子学生 100%

▶卒業生の就職先一例 (2022年度卒業生実績)

教育・広告・ その他サービス業 (私立学校教員含む)	アクティブライフ、アシックススポーツファシリティーズ、ECC、日本大学、堺市立病院機構 堺市立総合医療センター、社会福祉法人堺福祉会 特別養護老人ホーム ハートピア堺、JTB、社会福祉法人至誠学舎立川、社会福祉法人由寿会、社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団、社会福祉法人しが夢翔会、社会福祉法人北摂杉の子会、常翔学園、社会福祉法人聖徳会、社会医療法人生長会、医療法人社団生和会、総合警備保障(ALSOK)、デロイト トーマツ コンサルティング、東急エージェンシー、東洋テック、日本赤十字社和歌山医療センター、nobitel、医療法人社団白凜会、社会福祉法人芙蓉福祉会、ベネッセスタイルケア、社会福祉法人八尾市社会福祉協議会、幼児活動研究会	製造業	アサヒ飲料、伊藤ハム、イトーキ、イビデン、江崎グリコ、王子ホールディングス、花王、関西ペイント、小林製薬、GSユアサ、象印マホービン、THK、東洋紡、TOTO、日産自動車、パナソニックグループ、日立製作所、三菱電機、ミネベアミツミ、湯山製作所、レンゴー、YKK AP
公務員	国税専門官、防衛省自衛隊 幹部候補生、大阪府職員、奈良県職員、大阪市職員、堺市職員、貝塚市職員、豊中市職員、枚方市職員、箕面市職員、八尾市職員、高松市職員、富山県警察官、石川県警察官、京都府警察官、大阪府警察官、兵庫県警察官、京都市消防吏員、茨木市消防吏員、河内長野市消防吏員、吹田市消防吏員、宝塚市消防吏員、西宮市消防吏員、生駒市消防吏員	卸売業・小売業	アルフレッサ、カインズ、花王グループカスタマーマーケティング、JFE商事鉄鋼建材、ナイキジャパン、ファミリーマート、宮野医療器、ヨコハマタイヤジャパン、ライフコーポレーション
公立学校教員	岐阜県教員、京都府教員、大阪府教員、大阪市教員、兵庫県教員、和歌山県教員、山口県教員、愛媛県教員、高知県教員	情報通信業	伊藤忠テクノソリューションズ、カブコン、Sky、楽天グループ
		金融業・保険業	あいおいニッセイ同和損害保険、大阪厚生信用金庫、大阪シティ信用金庫、紀陽銀行、京都銀行、大和証券、野村證券、三井住友銀行、三菱UFJ銀行
		建設業	きんでん、積水ハウス、大和ハウス工業、竹中工務店
		電気・ガス・熱供給・水道業	関西電力、東京電力ホールディングス
		運輸業・郵便業	東海旅客鉄道(JR東海)、南海電気鉄道、日本郵便
		不動産業・物品賃貸業	オープンハウス、西日本高速道路ビジネスサポート
		その他	いずみの農業協同組合、大阪南農業協同組合、全国農業協同組合連合会、日本年金機構

大学院進学

関西大学大学院人間健康研究科

教員採用試験・ 各種資格合格実績

教員採用試験

教員採用試験 11名が合格!(既卒合格者含む)

社会福祉士国家試験合格率 72.7% 24名が合格

(2022年度実績)

▶キャリア形成、就職活動支援プログラム

自分を磨き、キャリアデザインを始めよう	就活に向けて準備をしよう	働く世界を知ろう	進路を決めよう
1~2年次 自らの知識を増やし、スキルを磨きながら仕事や社会について学びます。また「なりたい自分」を見つけ、そのための準備をします(=キャリアデザイン)。 実社会と出会い、社会人基礎力を育む ● 企業連携型キャリアスタートプログラム キャリアデザインを考えるセミナー・科目 ● キャリア教育科目 インターンシップ ● KU協定型就業体験プログラムなど	3年次 インターンシップへの応募や参加、各種講座の受講、OB・OGとの交流を通じて、本格的な就職活動の準備・対策を進めていきます。 ガイダンス・各種対策セミナー ● 就職ガイダンス ● SPI模擬テスト会 ● 就活スキルアップセミナー ● WEBテスト体験会 ● 公務員ガイダンス ● グループ面接実践会 ● 就活対策講座(業界・企業研究、学力試験対策、自己分析・エントリーシート対策など) インターンシップ(夏季・冬季)	企業や省庁・団体と出会うセミナー ● 業界研究セミナー ● 企業研究セミナー ● 合同業界(企業)研究セミナー・単独企業研究セミナー ● 公務員採用試験説明会 先輩・社会人と交流するセミナー ● キャリアサポーター行事 ● OB・OG懇談会	4年次 支援プログラムを活用し、セミナーなどに参加しながら、一人ひとりに合った進路をめざします。 ● 単独企業研究セミナー ● 合同企業研究セミナー ● 就活集中講座

▶キャリアセンター堺キャンパス分室

キャリアデザインをサポートするため、就職や進路選択に関するさまざまなキャリア、就職支援プログラムを開催

人間健康学部生の就職・進路相談の拠点。就職支援プログラムの実施や各種情報提供を行っています。学生一人ひとりに対して親身になって相談に乗ってくれる専門スタッフがいつでも待っています。



▶大学院人間健康研究科について

健康・スポーツ研究を通じて、人間社会の健康と福祉に貢献する

本研究科では、既存の体育・スポーツ系研究機関が主目的としてきたスポーツ競技力の向上だけでなく、身体活動やスポーツを通じて人間の健康や幸福の促進に関する研究や実践を重視しています。これは、健康増進法(2002年)やスポーツ基本法(2011年)の理念とも通じており、ヘルスプロモーションとスポーツプロモーションの2つの観点から健康(health)と健康(well-being)を地域社会で実現することをめざすものです。本研究科ではスポーツを通じた社会関係資本の蓄積や、健康増進および健康福祉支援事業の実践を推進できるような人材を育成します。中学校・高等学校の保健体育科専修免許状をもつ指導的教員や、関連分野における高度専門職業人を養成し、さらにはNPOやNGOといった市民活動のリーダーを輩出することが目標です。同時に、社会問題を解決に導くのに必要な学際的な視野と実践力をもった研究者を育てます。



▲呼吸ガス分析器による有酸素性能力の測定中。

※ラーニングアシスタント:自身の受講経験に基づいた受講生の学習支援など、授業運営の補助を行います。

教員紹介

人間健康学部の専任教員と主な研究分野をご紹介します。

スポーツと健康コース ■ 研究分野 ■ 学生の研究テーマ例



神谷 拓教授
■ 体育科教育学 ■ スポーツ教育学
■ 運動部活動における自治集団活動の意義と課題
■ 異質協同のグループ学習の分析
ー 中学校の水泳授業を対象にしてー



志岐 幸子教授
■ 感性論 ■ スポーツ感性学
■ プロ野球におけるユニフォームの色彩と競技成績
■ ソフトダーツ競技におけるゾーン状態時と平常時の脳血流量の比較検討



西山 哲郎教授
■ スポーツ社会学 ■ 文化社会学
■ 野球＝丸刈りのイメージと髪形の自由について
■ 日本でのeスポーツ文化の普及・促進に対する一考察



村川 治彦教授
■ 身体性哲学 ■ 身体文化論 ■ 日本の教育を変えるエディブル・ユニバーシティの可能性 ー 畑のある大学ー
■ 「防災×スポーツ」による地域防災の試み ー 防災活動への市民の主体性を高めるためにー



涌井 忠昭教授
■ 健康・スポーツ科学 ■ レクリエーション
■ レクリエーション活動が要介護高齢者に及ぼす効果
■ レクリエーション活動が大学生の身体活動量、ストレス、気分および体調に及ぼす影響



浦 和男准教授
■ 比較文学 ■ 比較文化論
■ アートとユーモアの関係性
■ スポーツ指導におけるユーモアの必要性



久保 友美特別任用准教授
■ 地域デザイン学
■ スポーツが他世代交流に与える影響について
■ スポーツを活用した地域人材教育のアプローチについて



河端 隆志教授
■ スポーツ・環境生理学 ■ 運動・環境適応学
■ スポーツ選手における5-A.L.A.の摂取が運動時に与える影響についての研究 ■ 陸上長距離走におけるトレーニング量とパフォーマンス向上、怪我の発症の関係について



谷所 慶教授
■ 健康・スポーツ科学
■ レジャースポーツの指導に関する調査
■ 運動習慣やトレーニングが腎臓形状に及ぼす影響



原田 純子教授
■ 舞踊教育学 ■ 舞踊学
■ 創作ダンスの体験における変化と成長
ー 授業における質問紙調査と作舞体験より
■ 舞踊作品における衣装の役割



森 仁志教授
■ 文化人類学 ■ 文化史
■ 革新的なアイデアを生み出す方法
■ 女子サッカーの普及
ー セレソン大阪堺レディース・プロジェクトー



弘原海 剛教授
■ 運動生理学 ■ 運動処方
■ 炭水化物マウスリンスが運動パフォーマンスに及ぼす影響
■ バッパリカキサンフィル摂取が認知機能に及ぼす影響



小室 弘毅准教授
■ ホリスティック教育学 ■ 身心教育学
■ 日本の健康至上主義を問い直す ー 幸福な国々の「死生観」から見る健康ー
■ 生きるためのファッション ー ファッションを読むー
■ 見えない空気を考える ー エンタメにおける人の雰囲気と場の空気ー



秋原 悠特別任用助教
■ 健康・スポーツ科学 ■ スポーツ運動学
■ チームビルディング(コーチング)
■ 体組成と体力テストの関係 ■ スクワット時の足幅とパフォーマンスの関係 ■ 体験学習前後の人間関係やコミュニケーションスキルについて



雑古 哲夫教授
■ バイオフィードバック
■ 運動生理学
■ 緊張を抑制し、最高のパフォーマンスを
■ 過緊張がスポーツに及ぼす影響力



灘 英世教授
■ 救急安全
■ 熱中症の予防策の理解と発症増加の原因究明
■ 体育授業内における生徒の意欲向上を促す適切な言葉かけ



彦次 佳教授
■ スポーツ老年学 ■ スポーツプロモーション
■ スポーツ社会学 ■ スポーツイベント参加者の動機と楽しさに関する研究 ■ 国際スポーツイベントが開催地域にもたらす影響に関する研究



安田 忠典教授
■ 人間健康論
■ 体験学習法とまちづくり ー アドベンチャープログラムと地域での実践活動の接続ー ■ 大学生による自主防災組織の創設と防災キャンプ活動の普及



佐野 加奈絵准教授
■ 骨格筋メカニクス
■ スポーツバイオメカニクス ■ 運動学
■ 競技種目や役割の違いが下肢筋腱形状に及ぼす影響
■ 長距離選手の高い走効率を可能とする走動作の特徴

福祉と健康コース ■ 研究分野 ■ 学生の研究テーマ例



植田 紀美子教授
■ 公衆衛生学(障がい児者)
■ 小児臨床遺伝学
■ 母子保健学
■ 障がいをもつ子どもやそのご家族の心身の健康と生活
■ マルトリートメントからみた妊娠期からの子育て支援



西川 知亨教授
■ 福祉社会学
■ 社会病理学
■ 社会的相互作用論
■ 歴代魔法少女アニメの変遷と社会状況
■ 食品CMから見るワークライフバランスの変化



岡田 忠克教授
■ 社会福祉政策
■ 社会福祉協議会から見る地域の特性とこれからの課題
■ 児童虐待防止に向けて
ー 親子の支援と家族再統合の必要性ー



山縣 文治教授
■ 子ども家庭福祉
■ 子育て支援について
ー 地域子育て支援拠点事業の意義と役割ー
■ 児童養護施設の小規模化と子どもの生活



種橋 征子教授
■ 高齢者福祉 ■ 介護福祉
■ 福祉経営
■ 認知症高齢者と家族の支援
■ 介護職員の働きやすさ



福田 公教准教授
■ 社会福祉学
■ 子ども家庭福祉論
■ 里親登録者数増加に向けて
■ ひどく親家庭の現状と支援における今後の課題



所 めぐみ教授
■ 地域福祉論 ■ ソーシャルワーク
■ 福祉教育
■ 人と人がつながる地域づくりを目指した福祉教育のありかた
ー 和歌山県有田市でのフィールドワークからー
■ 再犯者に対する自立支援の考察
ー 特別調整支援を受ける高齢出所者の語りから考えるー



森田 亜矢子准教授
■ 心理学
■ 認知科学
■ 音楽の神経心理学
■ 競技選手の心理的スキル
■ ソーシャルスキルトレーニング

心理学系 ■ 研究分野

※同教員は2023年度から本学部所属となりますが、引き続き本学大学院心理学研究科で研究指導等を行います。



阿津川 令子教授
■ 心理療法 ■ 産産臨床



香川 香教授
■ 臨床心理学
■ メンタルヘルス



池見 陽教授
■ 心理療法論
■ フォーカシング・傾聴・マインドフルネス等の心理療法の方法



北村 由美教授
■ 福祉臨床心理学
■ 発達臨床心理学



石田 陽彦 教授
■ 教育臨床
■ 地域臨床心理学



寺嶋 重典教授
■ 臨床心理学(心理アセスメント、投映法)
■ ストレス・マネジメント



岡田 弘司教授
■ 臨床心理学・臨床心理学的アプローチ



中田 行重教授
■ ロジャース派の心理療法
■ PCA/PCT
■ 地域臨床を含む心理支援

堺キャンパス

SAKAI CAMPUS

＼ 多彩な課外活動団体が活動中！ /

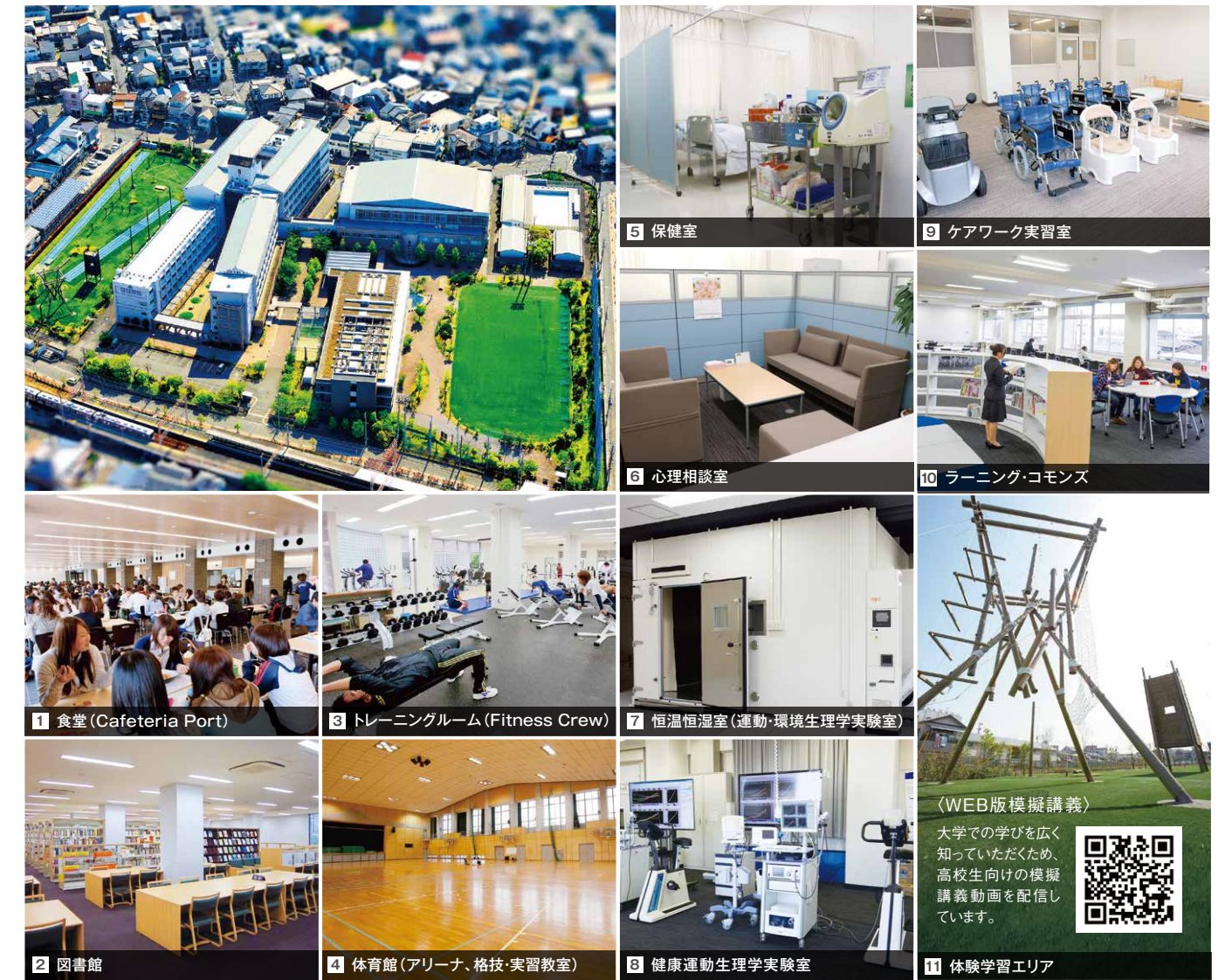
堺キャンパスを拠点に活動する団体一覧

- BLACKYZ(ダンス)
- Bumps(バスケットボール)
- 関西大学 K.S Hearts(サッカー・フットサル)
- 関西大学軟式野球サークル HUMANS(軟式野球)
- がんばり FLY HIGH(バレーボール)
- 関西大学野球チーム Squeeze(女子野球)
- WEVO(ボランティア)
- いろは。(軽音楽)
- socias(バドミントン)
- p.t. KAYMO(舞踊・創作ダンス)
- TC Allegre(テニス)
- 関西大学人間健康学部 準硬式野球部
- 人間健康学部祭典実行委員会(学園祭の企画・運営)
- 体育会 女子ソフトボール部(ソフトボール)
- ※2023年5月現在



(上段左から)いろは。、BLACKYZ
(下段左から)関西大学人間健康学部準硬式野球部、がんばり FLY HIGH、関西大学野球チーム Squeeze

堺キャンパス施設紹介



〈WEB版模擬講義〉
大学での学びを広く知っていただくため、高校生向けの模擬講義動画を配信しています。



- ① テラス席を含めて約400席の食堂は、リーズナブルな定食などを提供。コンビニエンスストアも併設しています。
- ② 約5万冊の蔵書、約200席の閲覧スペースがあり、他キャンパスの図書も取り寄せが可能です。
- ③ 各種トレーニングマシンを備え、実際にマシンを使いながらトレーニング方法を習得できます。
- ④ バレーボールコート2面が設置可能なアリーナ、柔道場、剣道場、更衣室、シャワー室が整備されています。
- ⑤ 健康管理、定期健康診断など健康に関するサポートを行っています。
- ⑥ 専門のカウンセラーがキャンパスライフにおける不安や悩みに対するケアを行っています。
- ⑦ 温度を-20℃～+40℃、相対湿度を20%～90%の範囲で制御することができ、さまざまな環境条件下の生体制御機能について研究を行います。
- ⑧ 運動を行う際の有酸素性能力の測定など、スポーツ生理学の研究に必要な実験機器を設置しています。
- ⑨ 介護用ベッド、車イス、高齢者体験セットなどを用いて、介護技術を学びます。
- ⑩ 自習やミーティングなどに自由に利用できるほか、PCや図書の貸出などを行っています。
- ⑪ アドベンチャー施設を利用したグループ活動を通して、自分や他者を大切にする心、困難に立ち向かう力、共に支え合う協調性、相互の信頼感などを育成する、体験学習のための施設です。スポーツの指導や教育、福祉の現場で役立つ「場づくり」やリーダーシップのあり方も学ぶことができます。

その他の施設

- 教職相談室 ● 福祉実習担当室 ● ユーモア科学スタジオ(Global Smart Classroom)
- 紀伊國屋書店関西大学堺ブックセンター ● PCルーム ● プール

詳しい施設の情報は
ホームページを
CHECK!

